

「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーションの前提について」に対する日本医師会の見解

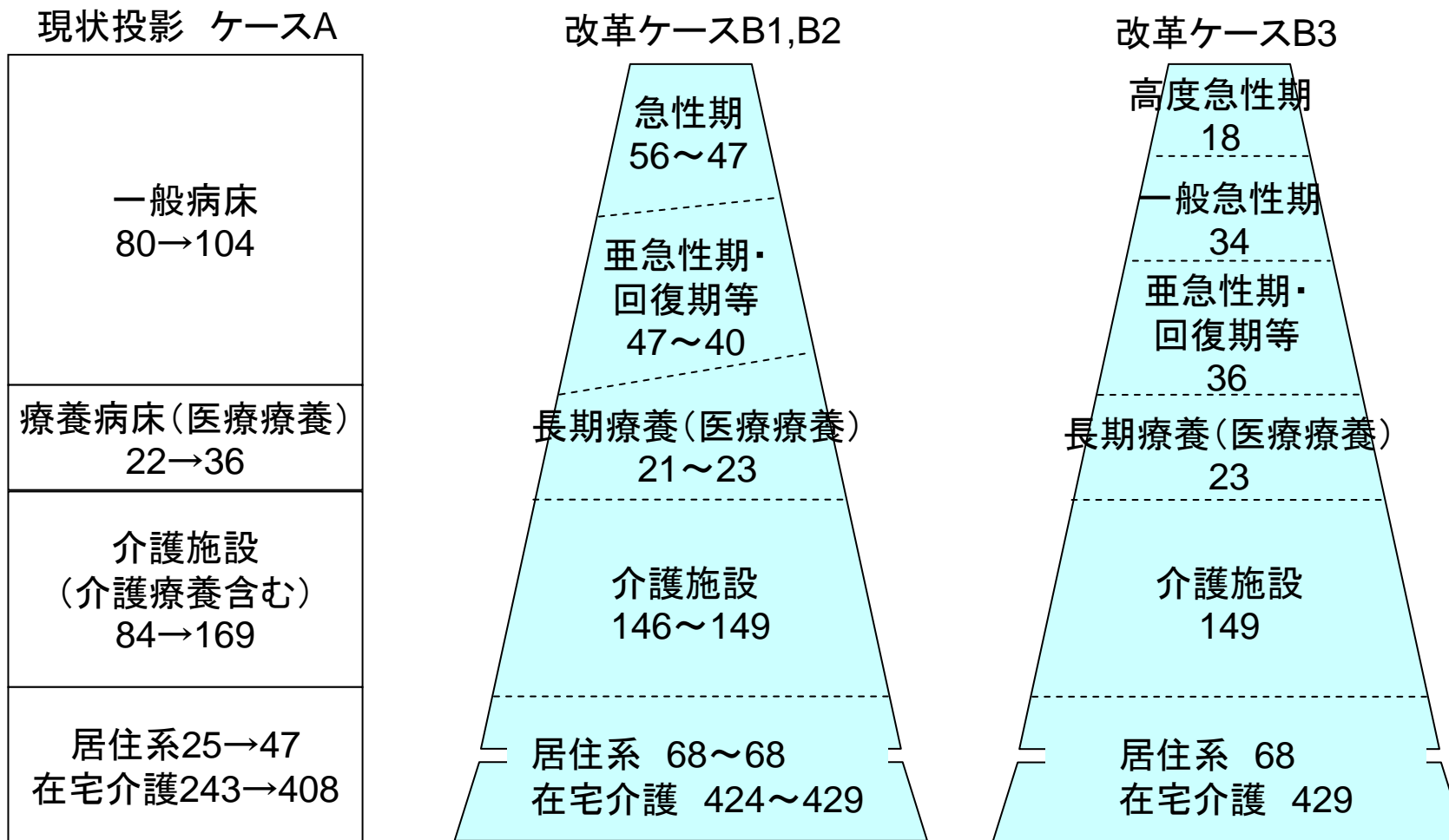
定例記者会見

2008年10月15日
社団法人 日本医師会

社会保障国民会議・サービス保障(医療・介護・福祉)分科会の医療・介護費用のシミュレーションでは、以下のようなケースが設定されている。

サービス提供体制改革の考え方(2025年)

(単位は万人/日)



*社会保障国民会議・サービス保障(医療・介護・福祉)分科会(2008年9月9日)資料
 「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーションの前提について」から再構成して図示
 社団法人 日本医師会(2008年10月15日 定例記者会見)

シミュレーションの「改革ケース」(ケースB1～B3)は、いずれも平均在院日数の短縮化を前提としているが、以下の点で問題がある。

1. 日本よりも医療費が高く、医師数が多い先進諸国と比べ、平均在院日数だけを目標指標としていること
2. 医療資源の強化が急性期病院に偏っていること

シミュレーションを行なうにあたっての前提

平均在院日数

		ケースB1	ケースB2	ケースB3
急性期	高度	15.5日→12日	15.5日→10日	20.2日→16日
	一般			13.4日→9日
亜急性期・回復期		維持	75日→60日	75→60日
長期療養(医療療養)		記載なし		

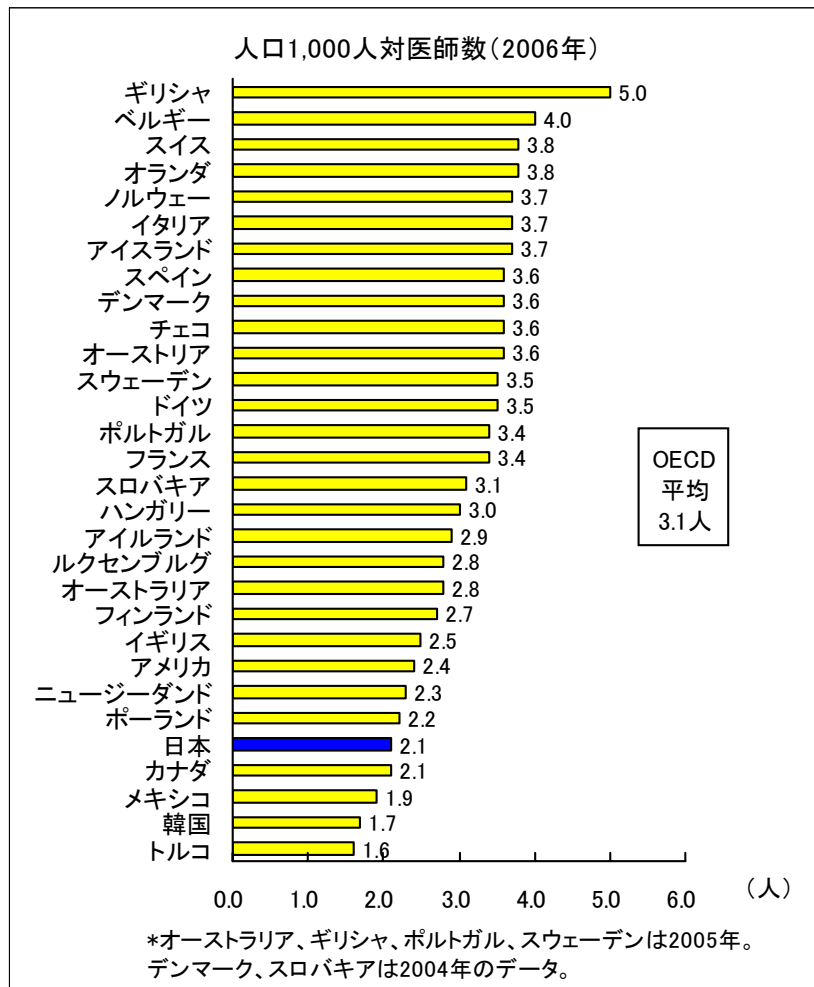
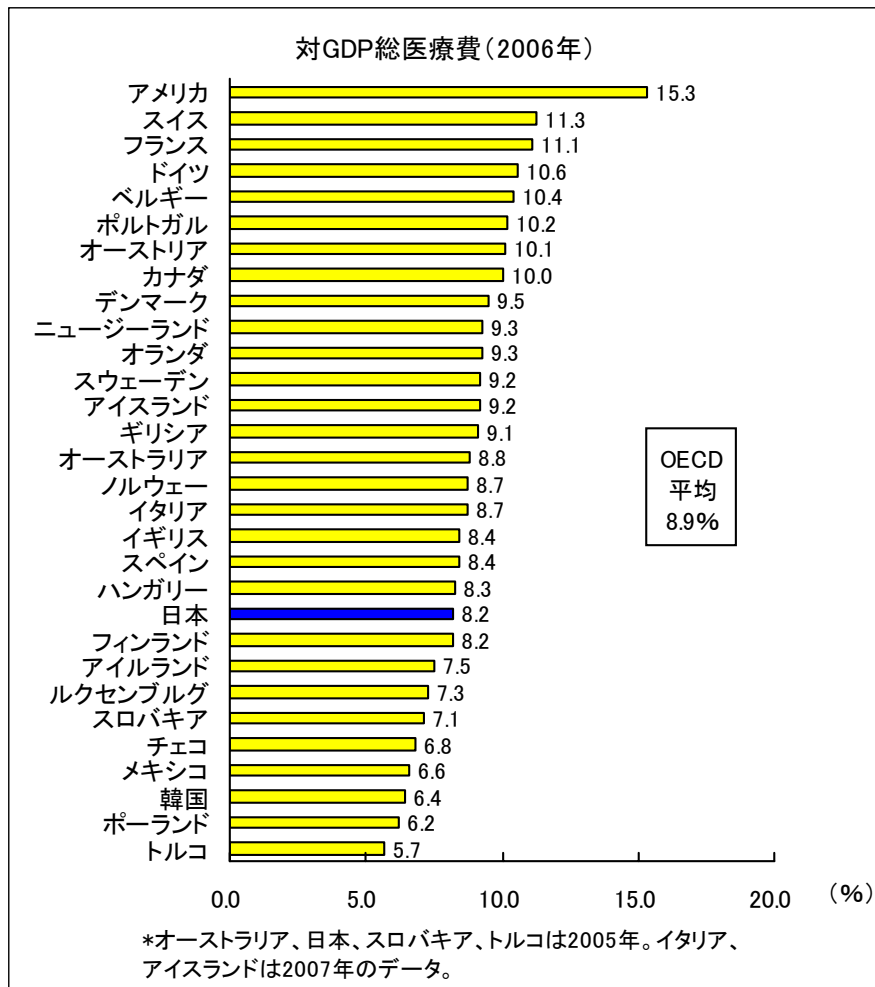
医療資源

		ケースB1	ケースB2	ケースB3
急性期	高度	職員数1.2倍	医療資源(職員数、医療機器など) 2倍	医療資源1.2倍
	一般			// 1.8倍
亜急性期・回復期		コメディカル等1.2倍	職員数1.3倍	職員数1.3倍
長期療養(医療療養)		「平均単価は上昇する」と記載されているのみ		

*社会保障国民会議・サービス保障(医療・介護・福祉)分科会(2008年9月9日)資料

「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーションの前提について」から再構成

日本は医療費が抑制されており、医師数も少ない。このような現状で、平均在院日数の短縮化を追求しているため、患者の治癒率が低下するという事態を招いている上*1)、勤務医の疲弊にもつながっている。



*出所: OECD Health data 2008

*1) 社団法人日本医師会「DPCについての日本医師会の見解」2008年9月17日, 定例記者会見

日本は現行制度の下で、健康についての高い評価を得てきた。これは、日本では地域で身近に病院や診療所があり、急性期から慢性期まで切れ目なく手厚く提供されてきた結果である。健康を犠牲にするおそれがありながら、諸外国のような医療提供のあり方を目指すことは間違っている。

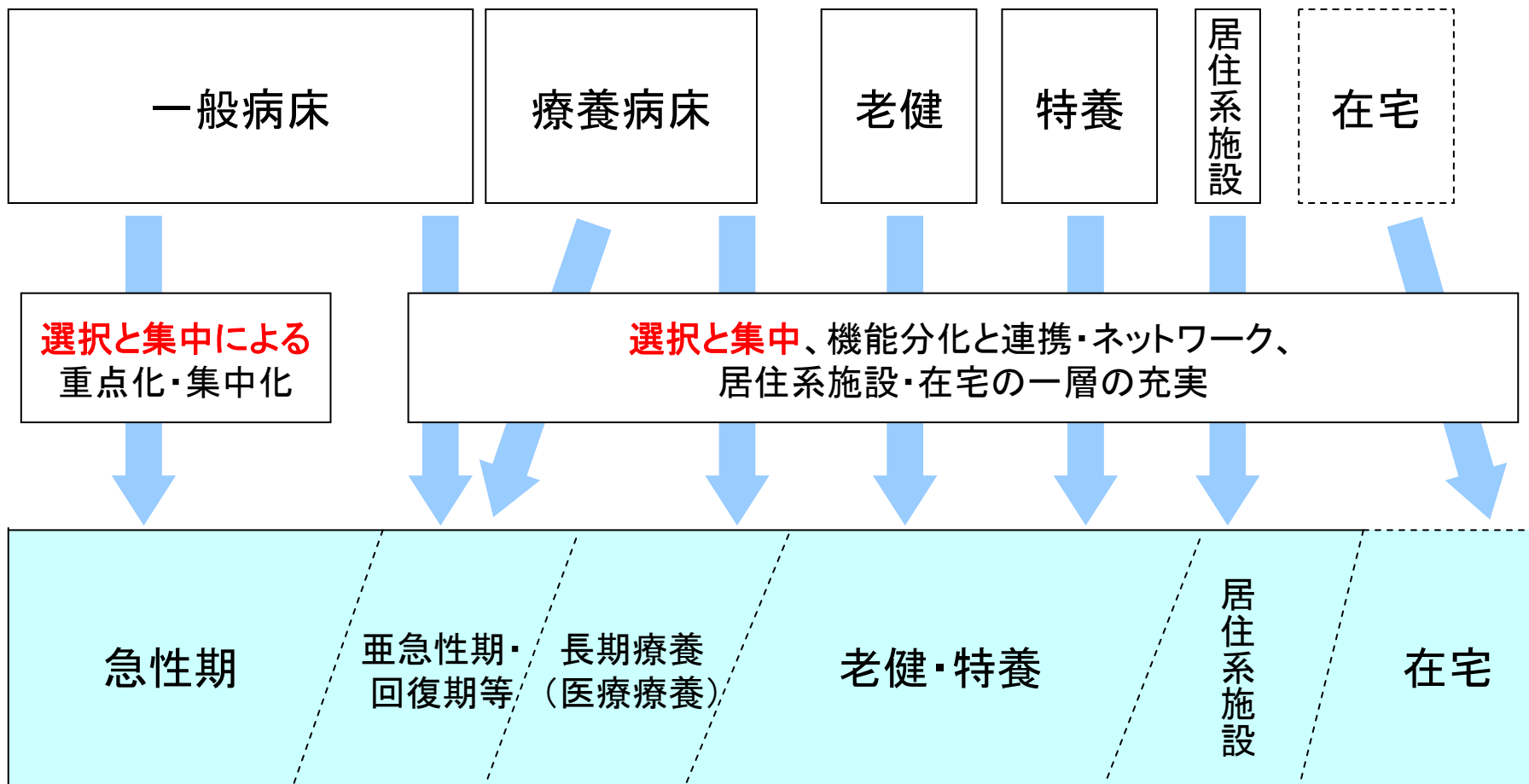
	1人当たり外来 受診回数 (2004)	乳児死亡率 (2004)	健康寿命		WHO総合 評価 (2000)
			男性 (2002)	女性 (2002)	
日本	1位	1位	1位	1位	1位
イタリア	—	11位	6位	5位	11位
フランス	9位	8位	13位	5位	6位
ドイツ	7位	11位	11位	8位	14位
アメリカ	18位	25位	22位	22位	15位
イギリス	15位	21位	16位	19位	9位
カナダ	13位	22位	8位	8位	7位

*社会保障国民会議中間報告(2008年6月19日)参考資料から再構成

社団法人 日本医師会(2008年10月15日 定例記者会見)

どの機能に対しても「選択と集中」とあるが、現在もきびしい医療費抑制のため、医療機関が淘汰され、身近に通院先、入院先がなくなった地域もある。地域的背景を考慮し、地域医療を守ることを志向すべきである。「選択と集中」を一律に課すべきではない。

医療・介護提供体制の現状と将来像(イメージ図)



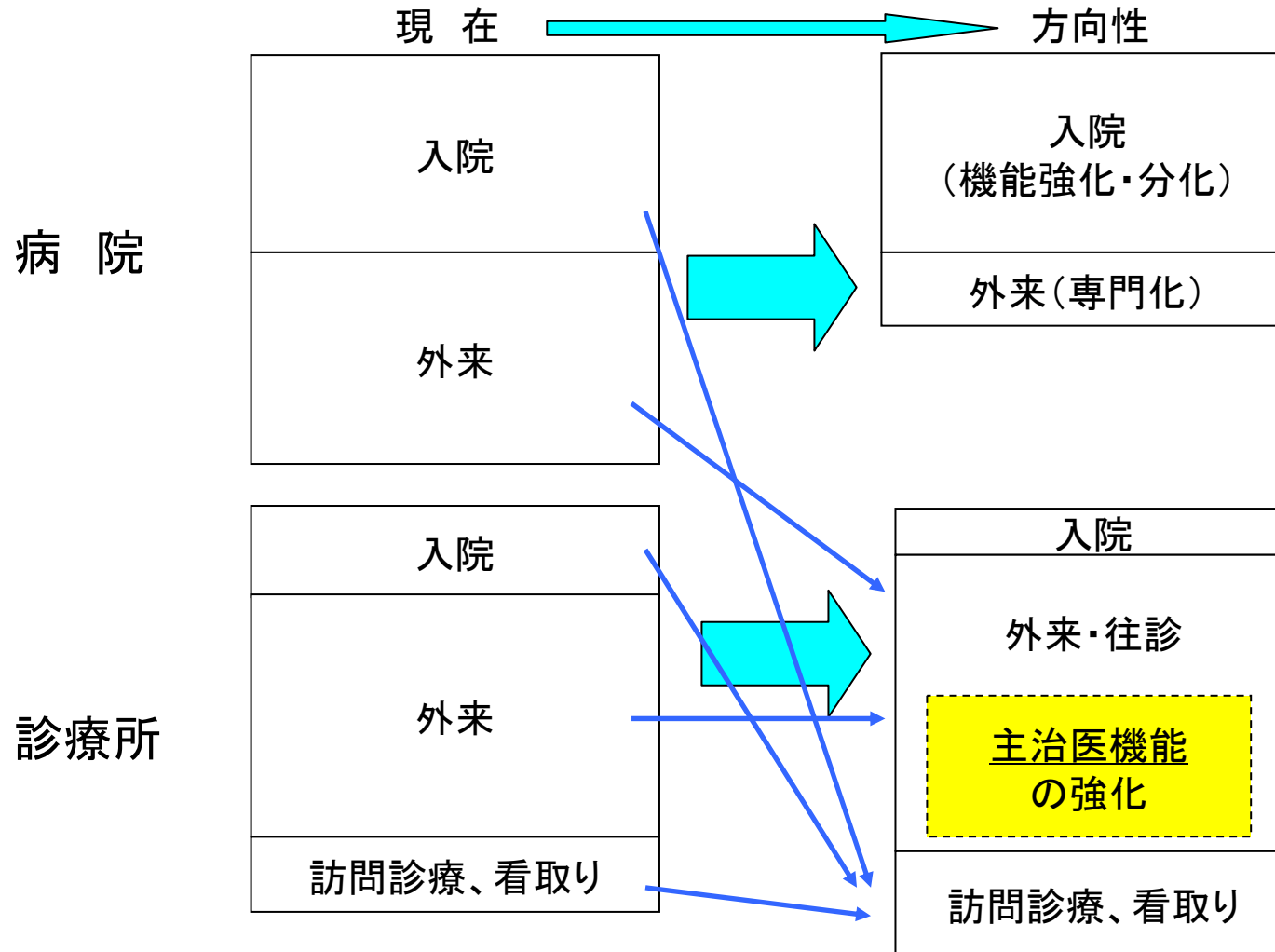
*社会保障国民会議・サービス保障(医療・介護・福祉)分科会(2008年9月9日)資料

「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーションの前提について」から再構成して図示

社団法人 日本医師会(2008年10月15日 定例記者会見)

唐突に「主治医機能」という言葉が出てきているが、「アクセス制限」による医療費抑制を意図しているのであれば、非常に問題であり、説明を求める。

医療・介護提供体制の現状と将来増(イメージ図)続



*社会保障国民会議・サービス保障(医療・介護・福祉)分科会(2008年9月9日)資料
「社会保障国民会議における検討に資するために行う医療・介護費用のシミュレーションの前提について」から再構成して図示
社団法人 日本医師会(2008年10月15日 定例記者会見)